

赤谷の森だよりの掲載内容一覧

令和3年4月1日 現在

番号	表紙		コラム		赤谷プロジェクト紹介				赤谷プロジェクトに望むこと			サポーター活動の紹介		
	テーマ	撮影者	テーマ	執筆者	テーマ	分類	執筆者	所属等	テーマ	執筆者	所属等	テーマ	執筆者	所属等
4	赤谷の森の最高峰(仙ノ倉山)	不明	晩秋の小出俣林道を歩く	林泉(地域協議会)	赤谷プロジェクト概要	赤P	不明	赤セ	時間がないんだ森林は...	岸 昌孝	NPO利根川上下流連携支援センター副事務局長			
5	様々な歴史を刻む(小出俣エリア)	不明	一本の木の生涯	中村隆史(赤セ)	大型猛禽類の調査を通じて	猛禽類	山崎 亨	赤谷プロジェクト猛禽類モニタリングWG座長	高等学校における環境教育	松井孝夫	群馬県立尾瀬高等学校自然環境課主任			
6	ミズナラ、猛禽調査等	不明	森を科学するとは	茅野恒秀(日本自然保護協会)	赤谷の森と植生管理の活動について	植生	亀山 章	赤谷プロジェクト自然再生モニタリング会議座長	アメリカ・カイバブ国有林におけるオオタカの研究と保全	遠藤孝一	日本オオタカネットワーク代表			
7	冬の森林	不明	五年目を迎える赤谷プロジェクト	岡村興太郎(地域協議会)	赤谷の森とホンドテン調査について	ほ乳類テン	足立 高行	応用生態技術研究所 所長	求められている環境教育	春田 隆	群馬県立利根実業高等学校 グリーンライフ科 長教諭			
8	下層に広葉樹が生育するカラマツ人工林	不明	森林の取扱いの難しさ	藤江達之(関東森林管理局)	赤谷プロジェクト概要	赤P	茅野 恒秀	日本自然保護協会						
9	炭窯・カヤ刈り	不明	暮らしが物語る森と人間	茅野恒秀(日本自然保護協会)	AKAYAプロジェクトと環境教育	環境教育	横山 隆一	日本自然保護協会 常勤理事						
10	雪景色	不明	環境の時代における全国初の取り組み	河合明宣(地域協議会)	赤谷プロジェクトと地域づくり-旧三国街道の活用を通じて-	地域づくり	茅野 恒秀・土屋 俊幸	日本自然保護協会・自然環境モニタリング会議委員会						
11	新治小遠足	不明	持続的な地域づくりに取り組んでいます	林 泉(地域協議会)	赤谷の森の溪流環境	溪流環境	相原 慎二	赤セ	里山と人との関わりのこれからをみつめて	深津 加津枝	京都大学 准教授			
12	仙ノ倉直下から赤谷を望む	不明	三国街道でお宝探し	田中直哉(赤セ)	プロジェクトが発足してからわかったこと 赤谷の森のイヌワシ・クマタカ	猛禽類	山崎 亨	赤谷プロジェクト猛禽類モニタリングWG座長	次世代を育む活動の必要性	利根川 太郎	みなかみ町立新治小学校 校長			
13	茂倉沢治山ダム・ムタコの日・ムタコ沢水質調査	不明	ともに共に歩むことの大切さ	茅野恒秀(日本自然保護協会)	赤谷地域の国有林の計画づくりに向けて	森林計画	不明	関東森林管理局計画課	体験型環境教育との出会い	岡田千穂	みなかみ町立新治中学校 教諭			
番号	表紙		赤谷の森写真館		赤谷の森でわかったこと				赤谷プロジェクトに望むこと			サポーター活動の紹介		
	テーマ	撮影者	テーマ	撮影者	テーマ		執筆者	所属等	テーマ	執筆者	所属等	テーマ	執筆者	所属等
14	クロサンショウウオ	竹村秀雄・星野理恵子	ブナ・モリアオガエル等	茅野恒秀・竹村秀雄・林武・川端 自 人	木材、薪、炭、肥料...生活を支えていた赤谷の森	地域づくり	茅野 恒秀	岩手県立大学 総合政策学部講師		西田真哉	トヨタ白川郷自然学校 校長	-	-	-
15	ムタコの日	安田剛士	立ち枯れたブナ・オコジョ等	茅野恒秀・出島 誠一・竹村秀雄・前田 修	センサーカメラとテンモニ隊の活躍	ほ乳類テン	足立 高行	応用生態技術研究所 所長		藤江達之	森林総合研究所	-	-	-
16	ニホンカモシカ	青木邦夫	オオカメノキの冬芽・ウサギの足跡等	茅野恒秀・竹村秀雄・星野理恵子・小鮎 守・平井 希	自然の森の姿	植生	亀山 章	自然環境モニタリング会議 座長		江戸家猫八	動物ものまね演芸家	-	-	-
17	熊の親子	不明	初夏の三国は、ツツジ街道	竹村秀雄・川端 自 人	新たな森づくり、スタート！ 「赤谷の森管理経営計画」	森林計画	不明	関東森林管理局計画課		清水英毅	森林塾青水 塾長	活動の紹介	藤田 卓	サポーター
18	ムタコの日	不明	美しいチョウたち	小林茂男・出島 誠一・前田修・藤田 卓	人工林を自然に戻してみようという試み	植生	塚田 夢人	東京農工大学 森林生態学研究室OB	自然は素晴らしい資源	施井真希子	みなかみ町観光協会	ホンドテンモニタリング調査	青木邦夫	サポーター
19	初冬の三国山	不明	『赤谷の森、樹木たちは今！』	平井希・赤セ 和 田 晴 美・福 田 耕 二・竹 村 秀 雄・小 鮎 守	姉妹プロジェクト「綾の照葉樹林プロジェクト」について	その他	土屋 俊幸	自然環境モニタリング会議 委員会		岸 良昌	みなかみ町長	豊凶調査	豊凶調査チーム	サポーター
20	ブナの実生	竹村秀雄	『ハイキングコースで可憐な草花と出会う！』	越尾 武	「赤谷の森のコウモリ」	ほ乳類コウモリ	三笠 暁子	コウモリの会事務局		河合明宣	地域協議会	南ヶ谷湿地	竹村秀雄 和田晴美	サポーター
21	樹液を吸うカブトムシ♀	赤セ	カブトムシ探りの思い出	不明	スギの人工林を”自然に戻す”実験を始めました	植生	藤田 卓	日本自然保護協会	人と自然が共生できる環境へ	阿部政英	高原千葉村	成功したヤマビル対策	坂口・星	サポーター
22	春を待つフキノトウ	松田大介	三国山・平標山の花々	林ふさ子	ニホンザルを調べてみたら	ほ乳類サル	安田 剛士	地域協議会	「畏敬の念と感謝」	小林友子	新治小学校六年担任	オオムラサギの幼虫探し	前田修 小林茂男 小鮎 守	サポーター

番号	発行日	赤谷の森ミニ写真館		赤谷の森でわかったことP2(1000字写-表5枚程度)				赤谷プロジェクトに望むこと		P3トピックス
		テーマ	撮影者	テーマ		執筆者	所属等	執筆者	所属等	内容
23	平成25年9月1日	赤谷川上流	赤谷森林ふれあい推進センター	打たれ強い水生昆虫	溪流	内田 臣一	愛知工業大学教授	河合 進	赤谷プロジェクト地域協議会	河合さんの地域協議会長就任挨拶(字数が多かったことから赤谷プロジェクトに望むことに含んだ)
24	平成25年12月1日	タマゴダケ	赤谷森林ふれあい推進センター	赤谷の森でニホンジカが増えたらどうなるのか?	ほ乳類シカ	梶 光一	東京農工大学教授	寺川 仁	関東森林管理局計画保全部長	2013みなかみオンパク(コイラ)にパートナーとして初参加!
25	平成26年3月15日	赤谷の森に春が来たマルバマンサク外	青木邦夫	森の地面で暮らす飛べない昆虫たち	植生	宇津井 守	宇津井環境調査事務所	朱宮 文晴	財団法人自然保護協会保全研究部 部長	赤谷の森学校開校しました!
番号	発行日	赤谷の森ミニ写真館		赤谷の森でわかったことP2(1000字写-表5枚程度)				地域と繋がる赤谷プロジェクト400字		P3トピックス400字
		テーマ	撮影者	テーマ		執筆者	所属等	執筆者	所属等	内容
26	平成26年8月1日	「赤谷の森の彩(いろどり)春～夏の花	赤谷森林ふれあい推進センター	赤谷エリアの溪流環境	溪流	中井 達郎	国士館大学	飯島 健治	泊まれる学校さる小	赤谷プロジェクト活動報告会
27	平成26年12月1日	旧三国街道の動物たち	赤谷森林ふれあい推進センター	イヌワシの舞う豊かな森を未来へ!	猛禽類	出島 誠一	日本自然保護協会	宮崎 りえ子	民話と紙芝居の家	コイラに参加! 森の恵みと学びの家がプレオープン
28	平成27年3月15日	ブナハアカゲタマフシ	赤谷森林ふれあい推進センター	赤谷の森で増えるニホンジカ	ほ乳類シカ	春山 明子	群馬野生動物事務所	深津 卓也	上牧温泉辰巳館	遊びにおいてよ! 赤谷の森学校へ!
29	平成27年8月1日	「いのちの輝き」モリアオガエルの産卵他	竹村秀雄他	アンケートからわかる住民の自然利用と「赤谷の森」への期待	地域づくり	茅野 恒秀	信州大学	木村 崇利	みなかみ町観光協会	たくみの里にオープン! 「森の恵みと学びの家」
特集号	平成27年10月1日	「赤谷の森・基本構想2015」の概要								-
30	平成27年11月1日	「赤谷の森の秋」紅葉を纏う滝他	藤澤将志他	カスタンネットからはじまる森をいかした地域づくり	地域づくり	出島 誠一	日本自然保護協会	小野 宏和	みなかみ町エコパーク推進室	たくみの里「森の恵みと学びの家」から
31	平成28年2月1日	小出俣の「巨樹・巨木」	赤谷森林ふれあい推進センター	小出俣に「巨樹・巨木観察コース」を作りました!	環境教育	横山 隆一	日本自然保護協会 参事	石坂 克之	新治小学校教諭(理科)	たくみの里「森の恵みと学びの家」から
32	平成28年8月1日	赤谷の森で出会う花たち(春～初夏)	赤谷センター、サポーター	クマタカを指標とした森林管理に関する提言	猛禽類	魚住所長	赤谷森林ふれあい推進センター	木村 元	環境省谷川自然保護官事務所自然保護官	たくみの里「森の恵みと学びの家」から(放課後子ども教室)
33	平成28年11月1日	赤谷の森の分解者(夏～秋)	赤谷センター、サポーター	イヌワシ赤谷ベア、7年ぶりの繁殖成功!	猛禽類	出島 誠一	日本自然保護協会	林 和高	みなかみ町立新治小学校校長	たくみの里「森の恵みと学びの家」から
34	平成29年2月1日	旧三国街道・三国峠に佇む道祖神	赤谷センター、サポーター	自然林への誘導に取り組んできて	植生	藤木 久司	赤谷森林ふれあい推進センター	富澤 健一	カスタンネット工房	たくみの里「森の恵みと学びの家」から
35	平成29年8月15日	色彩豊かな昆虫たち	サポーター	南ヶ谷湿地の自然環境		竹村 秀雄	赤谷プロジェクトサポーター	根津 公安	桐匠根津	みなかみユネスコエコパーク誕生 齋藤指導官着任紹介
36	平成29年12月1日	まなざし	赤谷センター、サポーター	新治小、未来へつなぐ森づくり		村山 英樹	新治小PTA会長	山口長士郎	工舎澄処	たくみの里「みなかみ田んぼプロジェクト」
37	平成30年3月1日	鉱塩によるニホンジカ誘引試験地(小出俣)にて	赤谷森林ふれあい推進センター	ニホンジカの低密度管理に向けた取組		松井 宏宇	日本自然保護協会	山崎杜人	染の家	たくみの里「森の恵みと学びの家」から(市毛さん)
38	平成30年8月1日	野山を彩る花々(春～秋)	赤谷森林ふれあい推進センター	イヌワシ狩場創出試験地の取り組み		出島 誠一	日本自然保護協会	石飛誠	地域協議会	みなかみ町は木育を推進しています
39	平成30年12月1日	秋/冬自然散策会より	赤谷森林ふれあい推進センター	赤谷のコウモリ 小出俣試験地の取り組み		三笠 暁子	新治小PTA会長	阿部利夫	群馬野外生物学会員	道の駅たくみの里から
40	平成31年3月15日	春のめざめ	赤谷森林ふれあい推進センター	ニホンジカの低密度管理に向けた取組Ⅱ		松井 宏宇	日本自然保護協会	鬼頭春二	みなかみ町長	自然史博物館谷川連峰企画展
41	令和1年7月1日	夏の風物詩	赤谷森林ふれあい推進センター	ヤマビル分布と被害対策について		坂庭 浩之	群馬県林業試験場	大森威宏	自然史博物館	いきもの村でサポートしよう
42	令和1年12月1日	冬の風物詩	赤谷森林ふれあい推進センター	いきもの村に桐を植えました		出島 誠一	日本自然保護協会	上田大志	気象猛禽類調査員	事務室からの風景
43	令和2年3月1日	春の風景	赤谷森林ふれあい推進センター	自然林復元試験地の取り組み		玉井 宏	赤谷森林ふれあい推進センター	本間優実	尾瀬鹿工房	自然散策会の案内

番号	発行日	赤谷の森ミニ写真館		赤谷の森でわかったことP2(1000字写-表5枚程度)				地域と繋がる赤谷プロジェクト400字		P3トピックス400字
		テーマ	撮影者	テーマ		執筆者	所属等	執筆者	所属等	内容
特集号	令和2年3月1日	「赤谷の森基本構想2020」の概要								-
44	令和2年8月1日	いきもの村のチョウ・トンボ	赤谷森林ふれあい推進センター	赤谷の森の哺乳類	哺乳類	梶 光一	哺乳類WG座長	加藤正一	新春小学校長	みなかみユネスコエコパークの今とこれから 執筆者:小野 主幹
45	令和2年12月1日	いきもの村のチョウ・トンボ	赤谷森林ふれあい推進センター	茂倉沢における斜路式ダムの有効性について	溪流	伊藤 彰伸	赤谷森林ふれあい推進センター	松坂珠生	環境省谷川管理官事務所	イヌワシの幼鳥が巣立ちました! 執筆者:伊藤 彰伸
46	令和3年3月1日	赤谷の森の白き花々	赤谷森林ふれあい推進センター	イヌワシの狩場創出試験	猛禽類	山崎 亨	猛禽類WG座長	河合明宣	放送大学	森とふれあう最初のいっぽ 執筆者:本多 結

関東森林管理局広報誌(関東の森林から)への掲載一覧

令和3年4月1日 現在

号	年	月	掲載タイトル	内容
1	16	4	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(通称「赤谷プロジェクト」)がスタート	・赤谷プロジェクトの取組の説明(森林施業等・動植物のモニタリング調査・森林環境教育等)
6	16	9	赤谷プロジェクト近況報告	・2004年度第1回企画運営会議・活動拠点の整備を開始・地域説明会の開催
7	16	10	赤谷プロジェクト近況報告(第2弾)	・植生WG第1回会合を開催・写真コラム「赤谷の森から」の連載スタート!
8	16	11	赤谷プロジェクト近況報告(第3弾)	・「いきもの村」での活動本格化!・「自然観察指導員に学ぶ」
9	16	12	赤谷プロジェクト近況報告	・11月の「いきもの村」・モニタリング検討委員会現地調査を実施・研究者グループ「赤谷の日」を視察
10	17	1	赤谷プロジェクト近況報告	・12月の「赤谷の日」・全国森林環境保全ふれあいセンター担当者、「赤谷の森」に集合
11	17	2	赤谷プロジェクト近況報告	・新春の「赤谷の日」・「いきもの村」での活動成果
12	17	3	猛禽類との共生を目指す取組 ～生物多様性の保全に向けて～	・指針作成に向けた調査と知見の蓄積・希少野生動植物の生息・生育を守るための委員会の設置・研究機関、自然保護団体等との連携
			赤谷プロジェクト近況報告	・プロジェクトの成果(サポーターの獲得・2月の「赤谷の日」・「環境教育ミーティング」への参加)
13	17	4	赤谷プロジェクト近況報告	・プロジェクトの成果(合意形成手法の確立・猛禽類などの生態の把握・研究者の関心の獲得)・3月の「赤谷の日」・2004年度第2回企画運営会議を開催・写真コラム「赤谷の森から」連載終了
14	17	5	赤谷プロジェクト近況報告	・平成17年度のプロジェクトエリア内における森林施業予定地で現地検討会を開催・4月の「赤谷の日」
15	17	6	赤谷プロジェクト近況報告	・春を迎えた「赤谷の森」・いきもの村のお披露目会の開催
16	17	7	赤谷プロジェクト近況報告	・小学生が体験した環境教育・中学生が体験した環境教育
17	17	8	赤谷プロジェクト近況報告	・様々な調査活動が本格化!・赤谷の日(テンダ隊)
18	17	9	赤谷プロジェクト近況報告	・2005年度・前期企画運営会議を開催・赤谷の森で「森林生態系スペシャリスト養成研修」を実施
19	17	10	森の価値を伝えて広めていける、新しい動き ～企業のCSR活動との連動～(NACS-J)	・CSRと生物多様性保全・現在の日本企業の認識・赤谷プロジェクトにおけるCSR・生物多様性保全をめざしたCSR活動と国有林
			赤谷プロジェクト近況報告	・猛禽類モニタリングWG 2005年度第1回会合の開催
20	17	11	赤谷プロジェクト近況報告	・茂倉沢治山事業全体計画調査
21	17	12	赤谷プロジェクト近況報告	・プロジェクトの相乗効果・高校生が「いきもの村」に
25	18	4	赤谷プロジェクト2005年度・後期 企画運営会議を開催	・後期 企画運営会議を開催
			赤谷プロジェクト近況報告	・千葉市の中学校教員が「いきもの村」で環境教育の模擬体験
27	18	6	赤谷プロジェクト近況報告	・「赤谷の日」での炭焼きを紹介
28	18	7	赤谷プロジェクト近況報告	・「自然環境モニタリング会議・植生WG合同現地視察」を開催・6月の「赤谷の日」
29	18	8	赤谷プロジェクト近況報告	・高校生への環境教育・植生WGによるプロット調査の実施
30	18	9	赤谷プロジェクト近況報告	・赤谷の森で「森林生態系スペシャリスト養成研修」を実施
31	18	10	赤谷プロジェクト近況報告	・平成18年 第1回企画運営会議を開催・小中学生への環境教育の実施
32	18	11	赤谷プロジェクト近況報告	・植生調査について
33	18	12	赤谷プロジェクト近況報告	・「赤谷の森」の自然散策会を開催・赤谷プロジェクトを多くの方々に見て頂きました
34	19	1	赤谷プロジェクト近況報告	・第2回溪流環境復元WGが開催されました・林野庁業務研究発表で発表してきました
35	19	2	赤谷プロジェクト近況報告	・地域の方々との猛禽類調査

号	年	月	掲載タイトル	内 容
36	19	3	赤谷プロジェクト近況報告	・梶谷国有林野部長の視察がありました・関東森林管理局業務研究発表会で発表してきました
37	19	4	赤谷プロジェクト19年度の取組み	・プロジェクトの枠組み・具体的な活動
38	19	5	赤谷プロジェクト近況報告	・「赤谷の森」にモリゾーキッコロがやってきた・さわやか自然百景・お知らせ(自然散策)
39	19	6	赤谷プロジェクト近況報告	・溪流環境復元WG
40	19	7	赤谷プロジェクト近況報告	・赤谷の森の自然散策を実施・「赤谷の森」で森林ふれあい実務研修を開催
41	19	8	赤谷プロジェクト近況報告	・「第1回 赤谷の森フォーラム」を開催・植生WG、溪流環境復元WGの現地検討会を開催・利根実業高校生に対する環境教育を実施
42	19	9	赤谷プロジェクト近況報告	・ムササビの生活・ムササビはプロジェクトの協力者
43	19	10	赤谷プロジェクト近況報告	・「第1回ムタコの日」が開催されました・千葉森林管理事務所との連携・森林生態系スペシャリスト養成研修の実施
44	19	11	赤谷プロジェクト近況報告	・企画運営会議の開催・日本イヌワシ研究会 合同調査への協力・地元小学生への環境教育
45	19	12	赤谷プロジェクト近況報告	・赤谷プロジェクトを支えるもう一つの力 サポーターの取組について・赤谷の森の自然散策について
46	19	1	赤谷プロジェクト近況報告	・JICA海外研修「持続可能な森林経営の実践活動促進Ⅱ研修」・パナマ国別研修「保護区管理」コース研修・「アマゾン群馬の森」JICA草の根技術協力事業研修
47	20	2	赤谷プロジェクト近況報告	・なぜホンドテン？・ホンドテンのモニタリング調査
48	20	3	赤谷プロジェクト近況報告	・センサーカメラを活用した取組について・赤谷の森の自然散策(冬版)の開催について
49	20	4	赤谷プロジェクト近況報告	・プロジェクト5年目の春が始まります・情報発信活動について(「赤谷の森だより」の発行・パンフレットの作成・マスメディアへの情報提供・HPの更新・「関東の森林から」の定期的な近況報告)
特集号	20	4	〈事例14-1~2〉赤谷プロジェクト	・赤谷プロジェクトの紹介と千葉森林管理事務所との連携した環境教育の取組などを掲載
50	20	5	赤谷プロジェクト近況報告	・モリゾーとキッコロが「赤谷の森林」にやってきた・4月の「赤谷の日」
51	20	6	赤谷プロジェクト近況報告	・(独)森林総合研究所による植生調査・「コリドー現地検討会2008in赤谷」の開催
52	20	7	赤谷プロジェクト近況報告	・放送大学面接授業・千葉市中学生への環境教育の実施
53	20	8	赤谷プロジェクト近況報告	・森林ふれあい実務研修の実施・ほ乳類モニタリングWGの開催・南ヶ谷湿地の調査
54	20	9	赤谷プロジェクト近況報告	・環境教育関東ミーティングについて・「第3回ムタコの日」の開催
55	20	10	赤谷プロジェクト近況報告	・林野庁長官赤谷プロジェクト視察・森林生態系スペシャリスト養成研修
56	20	11	赤谷プロジェクト近況報告	・JICA海外技術研修生の受け入れ・環境教育ワーキンググループ会議の開催・平成20年度 第1回企画運営会議の開催
57	20	12	赤谷プロジェクト近況報告	・「赤谷の森」で自然散策・地元小学生に森林環境教育
58	21	1	赤谷プロジェクト近況報告	・「環境教育・関東ミーティング2008・AKAYA」の開催
59	21	2	赤谷プロジェクト近況報告	・「赤谷の日」の炭焼き・千葉森林管理事務所との連携・自然環境モニタリング会議の開催
60	21	3	赤谷プロジェクト近況報告	・「モリゾー・キッコロ『森へ行こうよ!』」の撮影・「ニッセイ緑の環境講座」で赤谷プロジェクトの取組を講義・猛禽類モニタリングワーキングの開催
61	21	4	赤谷プロジェクト近況報告	・自然環境モニタリング会議、企画運営会議の開催・環境教育への取組(新治小での環境教育の実施・「赤谷の森」自然散策会の開催・新治中の総合学習への協力・高原千葉村自然教室指導者講習会の開催)
62	21	5	赤谷プロジェクト近況報告	・養成研修専攻科(第48期)へ講義・「赤谷の日」の活動
63	21	6	赤谷プロジェクト近況報告	・水生昆虫談話会メンバーの来訪・放送大学の面接授業・新治中学校総合学習への協力
64	21	7	赤谷プロジェクト近況報告	・千葉市中学校への環境教育の実施・「赤谷の森自然散策」の開催
65	21	8	赤谷プロジェクト近況報告	・ムタコ沢の水源かん養機能について・高校生への森林環境教育・植生管理の指針づくり
66	21	9	赤谷プロジェクト近況報告	・レッツ! サマースクールでの森林環境教育・「ムタコの日」で住民参加の森づくり
67	21	10	赤谷プロジェクト近況報告	・茂倉沢治山事業現地取材について・府中市緑の活動推進委員研修会・水生昆虫観察会の開催
68	21	11	赤谷プロジェクト近況報告	・猛禽類調査について・自然環境モニタリング会議の開催・JICA海外研修生の受け入れ
69	21	12	赤谷プロジェクト近況報告	・JICA国別研修・インド環境森林省・茂倉沢治山事業・現地説明会の開催

号	年	月	掲載タイトル	内 容
70	22	1	赤谷プロジェクト近況報告	・南ヶ谷湿地の堆積物調査・企画運営会議の開催・「赤谷の森を語る会」の開催
71	22	2	赤谷プロジェクト近況報告	・1月の「赤谷の日」活動・植生管理ワーキンググループ
72	22	3	赤谷プロジェクト近況報告	・現代都市文化研究会の視察・「赤谷の森自然散策」を開催・環境教育ワーキンググループの取組
73	22	4	赤谷の森から	・地元小学校で環境教育・自然教室指導講習会を開催・第2回企画運営会議の開催
75	22	6	赤谷の森から	・4月の「赤谷の日」の活動・「ムタコの日」実行委員会の開催
77	22	8	赤谷の森から	・赤谷の森自然散策を開催・地域の高校生への森林環境教育・植生管理ワーキンググループ現地検討会
79	22	10	赤谷の森から	・地域の小学生に森林環境教育・「ムタコの日」における森林整備活動
81	22	12	赤谷の森から	・森林生物多様性見学会・秋の自然散策
83	23	2	赤谷の森から	・ヤマビルの被害軽減に向け赤谷の森で落ち葉掃き・環境教育WGプログラム作成に向け現地検討会を実施
85	23	4	赤谷の森から	・赤谷プロジェクトの軌跡 第1回(プロジェクトの発足)[生物多様性の復元と持続的な地域づくり・協働三者のプロジェクトへの期待]
88	23	7	赤谷の森から	・赤谷プロジェクトの軌跡 第2回(プロジェクトの仕組)[主な取組の紹介(自然林回復試験)]
91	23	10	赤谷の森から	・赤谷プロジェクトの軌跡 第3回(主な取組)[溪流環境の復元(治山ダム中央部撤去)・猛禽類のモニタリング・赤谷の日・サポーター・環境教育・視察]
94	24	1	赤谷の森から	・赤谷プロジェクトの軌跡 第4回(赤谷の森管理経営計画書)[計画作成当初より協定3者が参加・生物多様性の保全と木材生産の両立を目指した森林の取り扱いを記載・順応的管理について明記]
97	24	4	赤谷の森から	・赤谷の森のモニタリング活動 第1回(自然林復元試験地)[これまでの試験でわかったこと・新しい伐採試験地]
100	24	7	赤谷の森から	・赤谷の森のモニタリング活動 第2回(イヌワシとクマタカ)[風の精 イヌワシ・森の精 クマタカ]
103	24	10	赤谷の森から	・赤谷の森のモニタリング活動 第3回(ホンドテン)[テンの視点で森を見る・ボランティアで調査・今までに分かったこと]
106	25	1	赤谷の森から	・赤谷の森のモニタリング活動 第4回(溪流環境復元WGの取組)[溪流環境とは・溪流環境の調査・溪流環境の調査を行って]
109	25	4	赤谷の森から	・「南ヶ谷湿地周辺の間伐を終えて」この湿地とその周辺の人工林の扱い(南ヶ谷湿地保全管理計画2011)について紹介
112	25	7	赤谷の森から	・「持続的な地域づくりに向けて」水源保全活動「ムタコの日」や「旧三国街道マップづくり」など様々な取組を紹介
115	25	10	赤谷の森から	・「ロケットリーフ」の様々な活用～大空高くロケットリーフで支援のWA!～ 環境教育教材の「空飛ぶタネの模型」を開発し、その取組みを紹介
118	26	1	赤谷の森から	・「市民参加のモニタリングで見てきた赤谷の森」ホンドテンモニタリングのその成果で見てきた赤谷の森を紹介
120	26	3	赤谷プロジェクト10周年シンポジウム	・平成26年3月9日東京農工大学において、日本各地で「地域づくり」に携わり活躍されている方々をゲストにお迎えし、開催したシンポジウムについて紹介
122	26	5	2014敷島公園まつり	・平成26年4月29日群馬県立敷島公園において行われた「2014敷島公園まつり」に、技術普及課とともに参加した様子を紹介
123	26	6	赤谷の森から	・赤谷プロジェクトサポーターが中心となって進めてきた「ホンドテンモニタリング」の成果を活用する、環境教育教材の開発の検討状況を紹介
126	26	9	地域とつながる赤谷プロジェクト	・みなかみ町が地元の人へ地元を好きになってもらうために「みなかみココイフ」に、パートナーとして参画している地域とのつながりの一つを紹介
130	27	1	赤谷の森から	・赤谷プロジェクトの取組をわかりやすく伝えるために取り組んでいる「ふれあい活動」について、平成26年度の取組を紹介
138	27	12	赤谷の森から	・「関東森林管理局森林・林業技術交流発表会予告編」ニホンジカ誘引試験と地域とつながる国有林の取組について紹介
139	28	1	イヌワシの狩り場創出試験	・イヌワシが狩りをするので環境の創出試験の状況報告取組を紹介
142	28	4	赤谷の森から	・ホンドテンモニタリングを活用した環境教育教材【森へのアプローチ】「ホンドテンは森をどう見ている？」を紹介
146	28	8	赤谷の森から	・猛禽類ワーキンググループが取りまとめた「クマタカを指標とした生物多様性の保全に資する森林管理 ―赤谷プロジェクトからの提言―」を紹介
147	28	9	赤谷の森に巨樹・巨木を見に行こう!	・山の日制定記念として赤谷センターが初開催した小出俣の巨樹巨木コースの散策会の開催結果を紹介
150	28	12	赤谷の森から	・赤谷の森やその周辺のフィールドを活用した屋外での森林環境教育活動や、小学校への出前授業の取組を紹介
154	29	4	赤谷の森から	・地域とつながる赤谷プロジェクト「赤谷カフェ」
158	29	8	赤谷の森から	・「赤谷の日」サポーターとの活動
162	29	12	赤谷の森から	・現地視察・現地研修の受け入れ
166	30	4	赤谷の森から	・赤谷の森自然散策
170	30	8	赤谷の森から	・南ヶ谷湿地の稀少動植物

号	年	月	掲載タイトル	内 容
174	30	12	赤谷の森から	・増加する前にシカ対策
178	31	4	赤谷の森から	・赤谷の森の猛禽類調査
182	R1	8	赤谷の森から	・桐の植栽で地域の新たな繋がりをつくる
186	R1	12	赤谷の森から	・赤谷の森自然散策(秋)
190	R2	4	赤谷の森から	・「赤谷の森の基本構想2020」の策定 ・令和元年度 森林・林業技術等交流発表会 ・赤谷の森自然散策(冬) ・お知らせ他
194	R2	8	赤谷の森から	・三国山のニッコウキスゲを守るためにシカ柵を設置
198	R2	12	赤谷の森から	・ニホンジカの低密度管理 ・イヌワシの繁殖サポート ・赤谷の森自然散策(秋)

赤谷プロジェクトに関する調査報告書等

令和3年4月1日 現在

年度	報告書タイトル	受託者	備考
平成16年度	緑の回廊モニタリング調査	(財)日本自然保護協会	
	赤谷プロジェクト自然環境モニタリング基本方針		
平成17年度	赤谷プロジェクト緑の回廊モニタリング調査	(財)日本自然保護協会	
	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)自然環境モニタリング「緑の回廊」のモニタリング手法研究		
平成18年度	赤谷プロジェクト緑の回廊モニタリング調査	(財)日本自然保護協会	
	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)自然環境モニタリング「緑の回廊」のモニタリング手法研究		
年度	報告書タイトル	受託者	備考
平成16年度	自然再生推進モデル事業報告書	(財)日本自然保護協会	
	赤谷プロジェクト自然環境モニタリング予備調査		
平成17年度	自然再生推進モデル事業報告書	(財)日本自然保護協会	
	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)自然環境モニタリング 体制整備と試行開始		
平成18年度	自然再生推進モデル事業報告書	(財)日本自然保護協会	
	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)自然環境モニタリング 活動成果蓄積システムの構築		
平成19年度	自然再生推進モデル事業報告書	(財)日本自然保護協会	
	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)		
平成20年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	
平成21年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	
平成22年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	
平成23年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	
平成24年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	
平成25年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	
平成26年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	
平成27年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	
平成28年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	

平成29年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	
平成30年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	
平成31年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	
令和2年度	三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画(赤谷プロジェクト)推進事業報告書	(財)日本自然保護協会	
年度	報告書タイトル	受託者	備考
平成17年度	新治地区茂倉沢治山事業全体計画作成調査 調査報告書(平成18年3月)	(財)林業土木コンサルタンツ	
平成18年度	新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査 調査報告書(平成19年3月)	(財)林業土木コンサルタンツ	
平成18年度	新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査 調査報告書(平成19年3月) 別冊(委員会議事録)	(財)林業土木コンサルタンツ	
平成19年度	新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査 調査報告書(平成19年12月)	(財)林業土木コンサルタンツ	
平成19年度	新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査 調査報告書(平成19年12月) 別冊(委員会議事録)	(財)林業土木コンサルタンツ	
平成20年度	平成20年度 新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査 報告書(平成21年3月)(調査計画編)	国土防災技術(株)	
平成21年度	平成21年度 新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査 報告書(平成22年3月)	応用地質(株)	
平成21年度	平成21年度 新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査 調査報告書(平成22年3月) 別冊(委員会議事録)	応用地質(株)	
平成22年度	平成22年度 新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査(平成23年3月) 報告書	応用地質(株)	
平成23年度	平成23年度 新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査(平成24年3月) 報告書 群馬県利根郡みなかみ町相俣三国峰国有林225林班外	国土防災技術(株)	
平成24年度	平成24年度 新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査(平成25年3月) 報告書 群馬県利根郡みなかみ町相俣三国峰国有林225林班外	国土防災技術(株)	
平成25年度	平成25年度 新治地区茂倉沢治山事業施設整備計画調査(平成26年3月) 報告書 群馬県利根郡みなかみ町相俣三国峰国有林225林班外	応用地質(株)	
平成26年度	平成26年度 茂倉沢溪流環境モニタリング調査(平成27年3月) 報告書 群馬県利根郡みなかみ町相俣三国峰国有林225林班外	応用地質(株)	
平成27年度	平成27年度 茂倉沢溪流環境モニタリング調査(平成28年3月) 報告書 群馬県利根郡みなかみ町相俣三国峰国有林225林班外	応用地質(株)	

年度	報告書タイトル	受託者	備考
平成5年度	三国高原猿ヶ京森林空間総合利用整備事業に係る森林施業等への影響調査報告書(平成5年6月)	(株) コクド	
		(社) 日本林業技術協会	
平成19年度	溪流生態系の保全に資する治山事業のモデル的实施について		関東森林管理局 作成
平成22年度	赤谷プロジェクト 赤谷の森・基本構想(2010年3月)		赤谷プロジェクト
	～生物多様性と社会の持続のために、森のあるべき姿をとりもどす～		作成
平成23年度	平成23年度 赤谷プロジェクトエリア内の歩道調査事業報告書	(株)緑化技研	
平成23年度	南ヶ谷湿地保全管理計画 2011		赤谷プロジェクト
			作成
平成26年度	AKAYAプロジェクト ホンドテンのモニタリング調査 2014年度報告書	応用生態技術研究所	赤谷プロジェクト 作成
平成27年度	AKAYAプロジェクト ホンドテンのモニタリング調査 2015年度報告書	応用生態技術研究所	赤谷プロジェクト 作成
平成28年度	AKAYAプロジェクト ホンドテンのモニタリング調査 2016年度報告書	応用生態技術研究所	赤谷プロジェクト 作成
平成29年度	ホンドテン糞の解析業務 平成29年度報告書	応用生態技術研究所	赤谷プロジェクト 作成
平成30年度	ホンドテン糞の解析業務 平成30年度報告書	応用生態技術研究所	赤谷プロジェクト 作成
平成31年度	ホンドテン糞の解析業務 平成31年度報告書	応用生態技術研究所	赤谷プロジェクト 作成

研究論文・研究発表一覧

令和3年4月1日 現在

関連WG	年月	雑誌名／会合名 等	タイトル	執筆者／発表者
哺乳類WG	2005/6	「水源地生態研究会議 森林生態研究委員会」10周年記念報告	森林環境評価のための指標種としてのテンMartes melampusの役割	荒井秋晴・足立高行・桑原佳子他.
溪流環境復元WG	2005/7	土木学会誌、第94巻7号、22-24頁	協働による溪流環境の復元の試み-赤谷プロジェクトにおける新たな治山事業	茅野恒秀
哺乳類WG	2005/7	SADO環境科学研究所報告	佐渡トキ野生復帰ステーション周辺におけるテン及びホンドイタチの糞分析による採餌傾向の解析	足立高行・桑原佳子. 川上藍・後藤唯
その他	2005/	森づくりフォーラム第106号、10-11頁	行政と自然保護NGOとの国有林野『共同管理』 赤谷プロジェクト	茅野恒秀
哺乳類WG	2007/5	日本生態学会九州支部(地区)大会	夏緑林におけるテンの食性の地域差-北部九州と関東周辺-	足立高行・荒井秋晴・桑原佳子
植生管理WG	2008/3	東京農工大学卒業論文	人工林の伐採跡地の植生回復に関する研究	田中裕 卒論
哺乳類WG	2008/3	東京農工大学卒業論文	野生動物の空間利用における林分構造・景観構造の関係	渡辺晶
その他	2008/3	東京農工大学 農学部 卒業論文	働型国有林管理プロジェクトにおける地域づくりの課題と展望～赤谷プロジェクト旧三国街道フットパス網計画を事例として～	南部さやか
猛禽類WG	2008/9	日本鳥学会・自由集会(9/13)	イヌワシ・クマタカを象徴とした森林生態系の保安全管理：赤谷プロジェクトの紹介と最近の繁殖状況、森林整備との関係	辻村千尋 他
その他	2009/	環境社会学研究 第15号、25-38頁	プロジェクト・マネジメントと環境社会学：環境社会学は組織者になれるか、再論	茅野恒秀
その他	2009/	よくわかる環境社会学	「赤谷プロジェクト」	茅野恒秀
溪流環境復元WG	2009/1	日経コンストラクション(1月22日号)	人間ドキュメント タブーに向き合い治山ダムを撤去--防災機能と溪流環境の両立を目指す推進役に	松浦隆幸
植生管理WG	2009/3	東京農業大学卒業論文	スギ人工林に天然更新した広葉樹の種組成に保残帯からの距離と土地利用前歴が及ぼす影響	井上歩
溪流環境復元WG	2009/8	現代林業2009年8月号	森と水--森林管理の現場から(第20回)国有林の共同管理と治山ダム部分撤去--利根川源流・赤谷プロジェクトの挑戦	蔵治光一郎

関連WG	年月	雑誌名/会合名等	タイトル	執筆者/発表者
植生管理WG	2010/3	第121回日本森林学会大会	関東の針葉樹人工造林地における伐採方法が広葉樹天然更新に及ぼす影響	塚田夢人 他
植生管理WG	2010/3	東京農工大学修士論文	* 自然林復元試験地(カラマツ林)における伐採実験	塚田夢人
溪流環境復元WG	2010/3	日本生態学会第57回全国大会、東京	治山ダムによって土砂送流が抑制された溪流の植生分布 ～AKAYAプロジェクト治山ダム撤去対象地・茂倉沢の事例～	林雄太、吉川正人、藤田卓
植生管理WG	2011/	Forest Ecology and Management 262(7):1280-1288	Effects of management, environment and landscape conditions on establishment of hardwood seedlings and saplings in central Japanese coniferous plantations.	Hirata, A., Sakai, T., Takahashi, K., Sato, T., Tanouchi, H., Sugita, H. & Tanaka, H.
その他	2011/	環境社会学	第6章「自然保護問題」	茅野恒秀
植生管理WG	2011/3	東京農業大学卒業論文	スギ人工林に天然更新した広葉樹の成長パターン	小川智也
溪流環境復元WG	2011/3	プロ・ナトゥーラ・ファンド第16期助成成果報告書	砂防堰堤撤去による溪流植生復元のためのモニタリングおよび回復評価手法の開発	吉川正人、林雄太
溪流環境復元WG	2011/3	日本生態学会第58回全国大会、札幌	群馬県赤谷川上流域における治山堰堤の設置とその破損が溪畔植生に与える影響	林雄太、吉川正人、藤田卓
その他	2011/3	東京農工大学 農学部 修士論文	官民協働型森林管理における地域環境ガバナンスの実態と課題 ～赤谷プロジェクトを事例として～	林あかね
哺乳類WG	2011/9	日本ほ乳類学会大会	群馬県赤谷地域におけるホンドテンの生息地選択～主要な餌植物の分布との関連性～	星野莉紗、藤田卓、足立高行、金子弥生
溪流環境復元WG	2011/9	川と湖を見る・知る・探る陸水学入門(日本陸水学会 編)	官民一体となった流域管理～赤谷プロジェクトの挑戦とその波及～	藤田卓、朱宮丈晴
植生管理WG	2012/	Forest Ecology and Management 283(1) :48-55	Interactive influences of distance from seed source and management practices on tree species composition in conifer plantations	Takuo Nagaïke, Taku Fujita, Seiichi Dejima, Tsunehide Chino, Seiji Matsuzaki, Yoichiro Takanose, Kazuaki Takahashi
その他	2012/	法政大学 社会科学部 博士論文	環境問題解決過程における政策課題設定のメカニズムに関する研究～自然保護問題の解決過程と制度変革の検討を通じて～	茅野恒秀
溪流環境復元WG	2012/1	砂防学会誌、第64巻 第5号(通巻298号)	溪流環境の復元を目的に加えた治山事業の計画と施工：茂倉沢における試み	高橋剛一郎、井口英道
自然環境モニタリング会議	2012/3	日本生態学会第59回、大津-自由集会(3/17)	官民協働による新しい国有林管理～生物多様性復元と持続的な地域づくりを目指した「赤谷プロジェクト」8年間の成果と今後の課題～趣旨説明：「赤谷プロジェクト」国有林管理のための意思決定・官民協働の枠組み	亀山章
自然環境モニタリング会議	2012/3	日本生態学会第59回、大津-自由集会(3/17)	赤谷の森の植生の現状評価と森林管理への反映	長池卓男
自然環境モニタリング会議	2012/3	日本生態学会第59回、大津-自由集会(3/17)	イヌワシ・クマタカを指標とした生態系評価と、森林管理への反映	山崎亨

関連WG	年月	雑誌名/会合名等	タイトル	執筆者/発表者
自然環境モニタリング会議	2012/3	日本生態学会第59回、 大津-自由集会(3/17)	哺乳類を指標とした生態系評価	藤田卓
哺乳類WG	2012/3	日本生態学会第59回、大津	The circadian activity pattern of sympatric forest mammals in central Japan	Hoshino, L., Fujita, T., Kaneko, K.
植生管理WG	2012/6	現代林業(552):38-42	お役に立ちます! 最新研究紹介 冷温帯におけるスギ人工林皆伐後の森林更新:埋上種子の樹種構成	酒井武、高橋和規、杉田久志
植生管理WG	2012/10	第2回関東森林学会大会口頭発表	スギ人工林に天然更新した広葉樹の成長パターン	小川智也
哺乳類WG	2012/11	群馬県立自然史博物館研究報告(16):131-144	群馬県みなかみ町のコウモリ類	佐々木尚子、三笠暁子、福井 大、吉倉智子、水野昌彦、今井英夫、大沢啓子、大沢夕志、佐藤顕義、野口郊美、本多宣仁、峰下耕、藤田卓、出島誠一
植生管理WG	2013/3	第124回日本森林学会大会ポスター発表	カラマツ人工林内において天然更新した広葉樹の更新時期および成長過程	小川智也
その他	2016/	東京農工大学 農学部 景観生態学研究室 卒業論文	シカ柵をどこに設置する? ~有蹄類の指向性および有蹄類と植物の遭遇可能性に基づく優先設置区域を選定する枠組みの提案~	篠田悠心
その他	2016/	上智大学 地球環境学研究科 (地球環境学専攻)学位論文	「2015年度学位論文 協働による環境共生型の森林管理のあり方 -赤谷プロジェクトを事例として-」	伊藤純子
哺乳類WG	2016/12	日本哺乳類学会	シカと森林の持続的な管理に向けて -赤谷プロジェクトと占冠村の事例-	明石信廣、長池卓男
溪流環境復元WG	2017/7	砂防学会誌、第70巻 第2号(通巻331号)	治山ダム撤去による溪流環境の回復	高橋剛一郎、石川芳治、中井達郎、太田猛彦
溪流環境復元WG	2019/	砂防学会誌、第71巻 第5号	溪流の連続性保持を考慮した斜路式魚道を有する治山ダムの開発	鈴木洋一郎、太田猛彦、石川芳治、高橋剛一郎、中井達郎、藤澤将志、川野敬、石井剛